

令和4年2月9日配信

道の駅「うれしのまるく」の登録について



本日（令和4年2月9日）、道の駅の第56回登録において、西九州新幹線嬉野温泉駅及び一般国道34号に隣接した、道の駅「うれしの まるく」が正式に登録されました。

詳しくは、別紙「国土交通省道路局企画課 報道発表資料（※）」をご覧ください。

※https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001515.html

名称 うれしの まるく

嬉野温泉駅周辺の新たな拠点が、そこに住む人々、訪れる人々を日常から解放し、異次元の癒しで“丸く”“円く”させる。また、「うれしの まるく」には市場（markt：ドイツ語）の機能も兼ね備えた癒しの玄関口として、ここから大きな“輪”をつくり出していくという意味が込められています。

本市としては、「道の駅」が地域の玄関口としてのゲートウェイ機能を担い、地域の魅力を最大限発揮できるよう西九州新幹線との同時開業を目指し、まちづくりを推進していきます。

問合せ先 嬉野市役所 建設部 新幹線・まちづくり課
担当：笠原・前川 電話：0954-27-7020

道の駅「うれしのまるく」

◆路線名：一般国道34号

◆所在地：佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲4370番地2（土地区画整理事業区域内）
うれしの　うれしのまち　しもじゆくこう

◆面積および施設等

- ・面積：約16,091㎡
- ・施設：駐車場82台、トイレ33器、情報提供施設、観光案内所、ベビーコーナー、非常用電源、備蓄倉庫、貯水槽、公衆電話、公衆無線LAN、物販施設（地域製品の紹介や販売）、多目的スペース、公園、足湯・手湯、レンタサイクル、EV充電施設、バス停

・整備手法：一体型

◆オープン予定：令和4年度

◆特徴

- ・九州有数の温泉地である嬉野温泉街に程近く、新たな玄関口である嬉野温泉駅との近接性を活かした情報発信により地区の周遊性や賑わいを創出
- ・地域製品の紹介や販売、隣接する民間施設と一体となった運営により、交流を促進
- ・隣接する独立行政法人国立病院機構嬉野医療センターと連携した、防災拠点として整備

イメージパース



位置図



平面図



位置図

